

(仮称)中央即応連隊の配置について

1 趣旨

中央即応連隊の配置について、その概要を報告するもの

2 部隊の位置付け

- ・ 平成18年度に新編される中央即応集団配下の部隊
- ・ 災害やテロ、国際平和協力活動等に迅速に対処

3 部隊の編成等

- ・ 部隊の規模は、約700名
- ・ 編成は、連隊本部及び本部管理中隊並びに普通科中隊3個

4 宇都宮駐屯地の改編について

- ・ 平成19年度に中央即応連隊を配置
- ・ 第4施設群配下の第362施設中隊を茨城県の新河駐屯地へ移駐
- ・ 第4施設群配下の第303水際障害中隊を福岡県の小郡駐屯地へ移駐
- ・ 常備自衛官の定員を、約1,040人(平成18年度末)から約1,560人(平成19年度末)に増員
- ・ 災害派遣や民生協力は、従来どおり

中央即応集団隷下部隊の新編（案）について平成18年8月
防衛庁

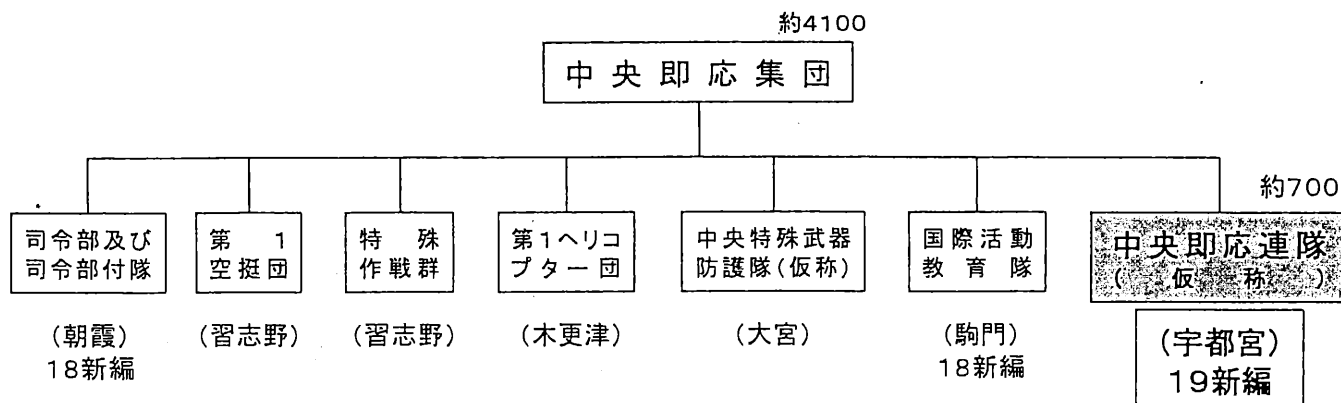
（注）本件は陸上自衛隊の組織改編として、平成19年度概算要求に向けて現在検討中のものです。

○ 概要

陸上自衛隊は、平成16年12月に策定された防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画に基づき、新たな体制への移行を進めており、その一環として、平成18年度に中央即応集団の新編を予定しています。

平成19年度には、中央即応集団の隷下部隊として、災害やテロ、国際平和協力活動等に迅速に対処することを念頭に置いた中央即応連隊（仮称）を新編します。

中央即応集団の編成（概算要求ベース）



中央即応連隊（仮称）の概要

【中央即応連隊の編成の概要】

約700

中央即応連隊(仮称)

連隊本部及び本部管理中隊

普通科中隊

宇都宮駐屯地の改編について

- 宇都宮駐屯地所在部隊については、中央即応連隊（仮称）を新編する一方、第4施設群隷下の第362施設中隊を茨城県の古河駐屯地へ、同じく第303水際障害中隊を福岡県の小郡駐屯地へ移駐させる予定です。

- 今回の改編により、宇都宮駐屯地の常備自衛官の定員は、約1,040人（平成18年度末）から約1,560人（平成19年度末）となる見込みです。

- なお、「国民保護法制」の整備等も踏まえながら、災害派遣や民生協力については、従来どおり、地元との密接な協力を配意してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

	平成18年度		平成19年度	
	主要部隊等	定員	主要部隊等	定員
宇都宮駐屯地	第6地对艦ミサイル連隊 第12特科隊 第362施設中隊 第303水際障害中隊 等	1,070	第6地对艦ミサイル連隊 第12特科隊 中央即応連隊（仮称） 等	1,580

※ 定員には常備自衛官のほか、駐屯地業務隊等の事務官等を含む。